

# 名護で食の世界旅行

家庭料理フェア開催

10カ国のグルメ集う



世界各國の料理で交流を深める参加者  
9日、名護市民会館中ホール

【名護】名護市に住む外国人や留学生が作った自国の料理で交流を深めるイベント「第17回世界の家庭料理フェア」(主催・

名護市国際交流協会、共催・名護市、市教育委員会、琉球新報社など)が9日、名護市民会館中ホールで開催された。イタリアやブラジルなど10カ国の料理が

並び、来場者は食の世界旅行を楽しんだ。訪れた人々は豚肉をパンに挟んで食べるブラジルのペルニウや、鶏肉と野菜をココナツミルクで煮込んだニューカレドニアのブリーニヤなど各国自慢の料理を買い求めた。

ひき肉や野菜を小麦粉の皮で包んで揚げたアルゼンチンのエンパナーダを販売していた仲宗根メリーさん(25)は「自分の国の料理を知ってもらえてうれし」と喜んだ。

全部おいしかったと笑顔を見せた佐藤圭志さん(19)は「沖縄だからできる国際交流だ」と話した。